

Panasonic[®]

取扱説明書 < 詳細編 >

ワイヤレスステレオヘッドホン

品番 **RP-HD610N**



 **Bluetooth[®]**

LDAC



Qualcomm[®]
aptX[™] HD



Google アシスタント

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

TQBM0407

本機の特長

**LDAC™、Qualcomm® aptX™ HD対応でワイヤレスでもレスポンスが早く
高い解像感を実現**

長時間ワイヤレスで音楽を存分に楽しめる

- Bluetooth® 対応ワイヤレスヘッドホン
スマートフォンなどの音楽をワイヤレスで楽しんだり、ハンズフリー通話が可能
- 家でも外出先でも長時間たっぷり音楽を楽しめる連続約 24 時間再生（ノイズキャンセリング ON、SBC）

選べる3つのノイズキャンセリングモード搭載

- お好みに合わせて、3 つのモードに切り替えできる

Google アシスタントに対応

- [アクションボタン]によりスマートフォンを取り出すことなく音声操作が可能

ワンタッチ操作で周囲の音が聞こえる「ボイススルー」機能

- 電車等の車内アナウンス等、周囲の音を聞きたいときに、ヘッドホンを外すことなく周囲の音が聞こえる

2 台の Bluetooth® 機器を同時接続できる「マルチポイント」機能

- 音楽再生機器で音楽を聴きながら、スマートフォンなどの着信を受けることができる

ヘッドホンを折りたたんで持ち運べる「スイーベル & 折りたたみ機構」搭載

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→ ○○) で示しています。
- 製品のイラストは、実際と異なる場合があります。

付属品



付属品をご確認ください。

- USB 充電ケーブル (1 本)
- 着脱コード (1 本)
- キャリングケース (1 個)



- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品のご紹介

AC アダプター (DMW-AC9)

お知らせ

- 2019 年 2 月現在の品番です。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。

(→ 5~8ページ)

本機の特長	2
付属品	3
別売品のご紹介	3

準備

各部のなまえ	9
充電する	10
電源を入れる／切る	10
Bluetooth [®] 機器に接続する	11
本機を Bluetooth [®] 機器にペアリング(登録)して接続する	11
登録済みの Bluetooth [®] 機器と接続する	11

使う

音楽を聴く	12
リモコン操作	12
通話する	13
ノイズキャンセリングを使う	14
Google アシスタントを使う	15
「Panasonic Audio Connect」アプリを使う	17
便利な機能	18
音声アシスタント機能を起動させる	18
音声ガイダンス	18
ボイススルーを使う	18
マルチポイント接続をする	19
電池残量のお知らせ	19
オートパワーオフ	19
着脱コード(付属)を使う	20
リセット	20

ご参考

本機の収納について	21
工場出荷設定に戻す	22
使用上のお願い	22
ご使用について	22
Bluetooth [®] について	23
故障かな!?	25
お手入れ	27
著作権など	27
仕様	28
廃棄するときのお願い	29

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	--

危険



本機は、付属の USB 充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する指定外の方法で充電すると、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。



水のかかるおそれのある場所で、USB 充電ケーブルを使わない
台所、洗濯場などで使用すると感電の原因になります。



本機は充電式電池を内蔵しています

- 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない

発熱・発火・破裂の原因になります。



警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、USB 充電ケーブルを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体や USB 充電ケーブルが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 本機に異常があるときは電源を切って、販売店にご相談ください。



航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う、もしくはご利用の航空会社へ使用条件を確認する

電源「入」で使用すると、電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 程度以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



分解、改造をしない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

(製品廃棄時に電池を取り出すための分解は除く)



USB 充電ケーブルやプラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、ショートによる火災の原因になります。



内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で本機を使わない
事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



本機を使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意



本機の接続前に音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



本機が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



本機や USB 充電ケーブルの上に重い物を載せたり、乗ったりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースやコードのプラグが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。

火災の原因になることがあります。

また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。



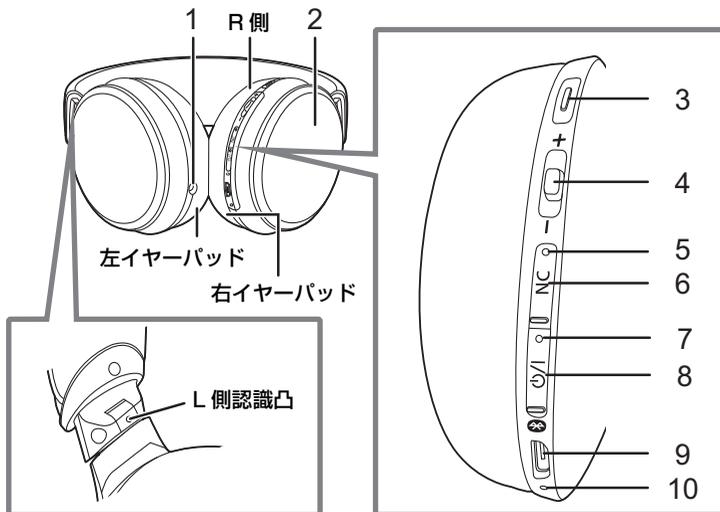
本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- 本機は防磁対応ではありません。ブラウン管等の近くに置かないでください。

電池廃棄時の安全上のご注意は、「廃棄するときのお願い」(→ 29)をお読みください。

各部のなまえ



- 1 音声入力端子
- 2 ボイススルーセンサーパネル
- 3 [アクションボタン]
 - Google アシスタントを操作できます。
(→ 15, 「Google アシスタントを使う」)
- 4 [マルチファンクションボタン]
 - ボタンを押したり、「+」側や「-」側へ動かしたりすることで、さまざまな操作ができます。
(→ 12, 「リモコン操作」)
- 5 ノイズキャンセリング LED^{※1}
- 6 [NC](ノイズキャンセリング)ボタン
(→ 14, 「ノイズキャンセリングを使う」、
→ 18, 「ボイススルーを使う」)
- 7 電源 / ペアリング LED^{※2}
- 8 [電源 / 充電] ボタン^{※3}
- 9 充電端子
 - 充電時に、USB 充電ケーブルを接続します。
(→ 10, 「充電する」)
- 10 マイク

※1 点灯・点滅の一例

点灯(緑):	ノイズキャンセリング「入」時
--------	----------------

※2 点灯・点滅の一例

点灯(赤)	充電中
交互に青と赤で点滅	Bluetooth [®] のペアリング(登録)待機時
ゆっくり点滅(青) ^{※4}	Bluetooth [®] の接続待機時
約 2 秒間隔で 2 回点滅(青) ^{※4}	Bluetooth [®] のペアリング(登録)完了時 / 通話中
点滅(青) ^{※4}	着信中

※3 電源(切/入)

※4 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。(→ 19, 「電池残量のお知らせ」)

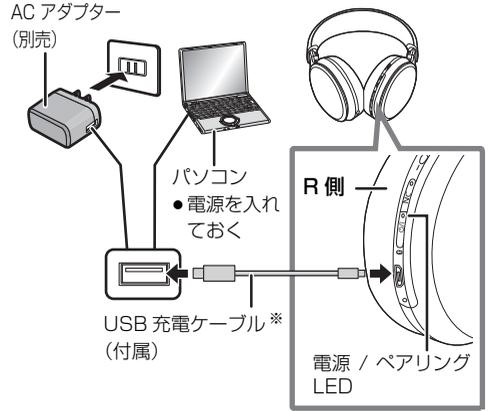
充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

USB 充電ケーブルで、本機をパソコン、または AC アダプター(別売:DMW-AC9)に接続する

- 充電中は電源 / ペアリング LED(赤)が点灯し、消灯すると充電完了です。
- 電池残量がない状態から満充電するには、約4時間かかります。

※ 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)



お知らせ

- 室温が 10 °C から 35 °C のときに、充電できます。それ以外の室温のときは、充電が止まって電源 / ペアリング LED が消灯する場合があります。
- 充電中は、電源を入れることや Bluetooth® 機器に接続することはできません。
- パソコンがスタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されないことがあります。
- 付属の USB 充電ケーブルまたは当社製 AC アダプター(別売:DMW-AC9)以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 別売品の取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

電源を入れる / 切る

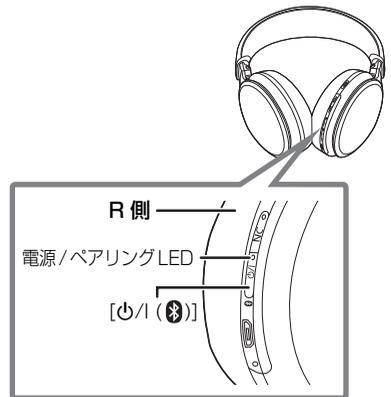
電源が切れている状態で、本機の [ON/OFF] を電源 / ペアリング LED(青)が点滅するまで、約 3 秒間押したままにする

- 電子音が鳴り、電源 / ペアリング LED(青)がゆっくりと点滅します。

■ 電源を切るには

[ON/OFF] を約 3 秒間押したままにすると、音声ガイダンスが流れ、電源が切れます。

- 音声ガイダンスの言葉を切り替えることができます。(→ 18、「音声ガイダンス」)



お知らせ

- 本機が Bluetooth® 機器と接続されていない場合、本機の手続きを終えてから約5分後に音声ガイダンスが流れ自動的に電源が切れます。(ノイズキャンセリング「入」時を除く) (→ 19、「オートパワーオフ」)
- 音声ガイダンスの言葉を切り替えることができます。(→ 18、「音声ガイダンス」)

Bluetooth® 機器に接続する

準備

- Bluetooth® 機器は本機から約 1 m 以内に近づけておく。
- 必要に応じて、機器の取扱説明書で操作方法などを確認しておく。

本機を Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する

Google アシスタントを使用する場合は、以下の設定の前に、「Google アシスタントを使う」(→ 15) をお読みください。

1 電源が切れている状態で、本機の [⏻/Ⓜ (🔊)] を電源 / ペアリング LED が点滅するまで、押したままにする

初めて機器を登録する場合: 約 3 秒
2 回目以降の機器を登録する場合: 約 5 秒

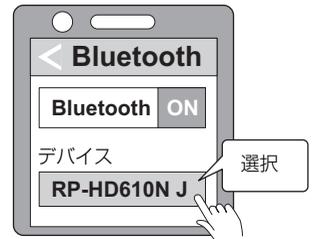
- 接続する Bluetooth® 機器の検索を始め、電源 / ペアリング LED が交互に青と赤の点滅をします。

2 Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする

3 Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューから、機器名「RP-HD610N J」を選択する

- 「RP-HD610N J」が表示される前に MAC アドレス (機器によって表示される固有の英数字) が表示される場合があります。
- パスキーの入力を要求された場合は、本機のパスキー「0000」(ゼロ4つ)を入力してください。

例)



4 本機側で Bluetooth® 機器との接続を確認する

- 機器との接続が完了するまでは、電源 / ペアリング LED が交互に青と赤の点滅をします。電源 / ペアリング LED (青) が約 2 秒間隔で 2 回点滅すれば、ペアリング(登録)完了です。(接続状態)

お知らせ

- 5 分以内に機器の接続が完了しなかったときは本機の電源が切れますので、登録をやり直してください。(ノイズキャンセリング「入」時を除く)
- 本機に登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

登録済みの Bluetooth® 機器と接続する

1 本機の電源を入れる

- 本機の [⏻/Ⓜ (🔊)] を電源 / ペアリング LED (青) が点滅するまで、約 3 秒間押したままにします。
- 電子音が鳴り、電源 / ペアリング LED (青) がゆっくりと点滅します。

2 「本機を Bluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する」の手順 2、3 を行う

- 電源 / ペアリング LED (青) が約 2 秒間隔で 2 回点滅すれば、ペアリング(登録)完了です。(接続状態)

お知らせ

- 本機は、最後に接続した機器を記憶しています。手順 1 (→ 上記) のあとに自動接続する場合もあります。
- 5 分以内に機器の接続が完了しなかったときは本機の電源が切れますので、電源を入れ直してください。(ノイズキャンセリング「入」時を除く)

音楽を聴く

Bluetooth® 対応機器が「A2DP」と「AVRCP」の Bluetooth® プロファイル対応であれば、本機側でリモコン操作して音楽再生などができます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile): 本機に音を伝送します。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile): 本機側でリモコン操作できます。

1 Bluetooth® 機器と本機を接続する(→ 11, 「Bluetooth® 機器に接続する」)

2 Bluetooth® 機器側で、聴きたい音楽や動画などを選んで再生する

- 本機のヘッドホンから、再生した音楽や動画の音声が出力されます。
- 持続時間について (使用条件によって短くなる場合があります):
再生時間は約 24 時間です。

■ お願い

- 音量によっては本機から音漏れしますので、お気をつけください。
- 本機の音量を最大近くまで上げると、音楽などがひずんで聴こえるときがあります。
その場合は、ひずまずに聴こえるまで音量を下げてください。

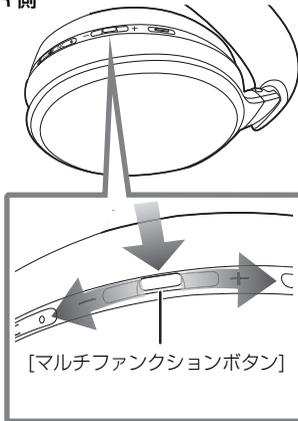
リモコン操作

本機の [マルチファンクションボタン] を操作して Bluetooth® 機器をリモコン操作します。

- Bluetooth® 機器やアプリケーションによっては、本機の [マルチファンクションボタン] を操作しても、一部の機能が動作しない場合や、下記とは異なる動作をする場合があります。

([マルチファンクションボタン] の操作の一例)

R 側



動作	操作
再生 / 一時停止	[マルチファンクションボタン] を押す
音量を上げる	[マルチファンクションボタン] を「+」へ動かす ● 「+」へ動かしたままにすると、連続で音量を上げることができます。
音量を下げる	[マルチファンクションボタン] を「-」へ動かす ● 「-」へ動かしたままにすると、連続で音量を下げるすることができます。
曲送り	[マルチファンクションボタン] を素早く 2 回押す
曲戻し	[マルチファンクションボタン] を素早く 3 回押す
早送り	[マルチファンクションボタン] を素早く 2 回押し、2 回目を押したままにする
早戻し	[マルチファンクションボタン] を素早く 3 回押し、3 回目を押したままにする

📢 お知らせ

- 音量は 31 段階調整できます (通話時は 16 段階)。最大または最小の段階まで押すと電子音が鳴ってお知らせします。

通話する

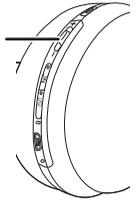
Bluetooth® 対応電話機(携帯電話、スマートフォンなど)が「HSP」または「HFP」のBluetooth® プロファイル対応であれば、本機側で通話ができます。

- HSP(Headset Profile):
本機でモノラル音声の受信と、マイクでの双方向通信ができます。
- HFP(Hands-Free Profile):
HSP の機能に加え、通信の発信・着信機能を持っています。(本機には発信機能はありません)

1 Bluetooth® 対応電話機と本機を接続する(→ 11, 「Bluetooth® 機器に接続する」)

2 本機側で [マルチファンクションボタン] を押して、着信した電話を受ける

[マルチファンクションボタン]



- 着信中、本機から着信音が鳴り、電源 / ペアリング LED が点滅します。
- (HFPのみ)着信拒否するには、[マルチファンクションボタン]を素早く2回押ししてください。

3 通話する

- 通話中は本機の電源 / ペアリング LED が2回ずつ繰り返し点滅します。
- 通話時も音量を調整できます。
設定方法については(→ 12, 「リモコン操作」)

4 本機の [マルチファンクションボタン] を押し、通話を終了する

- 電子音が鳴ります。

お知らせ

- Bluetooth® 対応電話機側でハンズフリー通話設定の操作などが必要な場合があります。
- Bluetooth® 対応電話機によっては、Bluetooth® 対応電話機側の着信音や呼出音が本機から聴こえる場合もあります。
- (HFPのみ)周囲の音が大きい場所や屋外などの強風下で使用すると、通話内容が聴き取りにくいことがあります。このような場合は、通話場所を変えるか、通話機器を Bluetooth® 対応電話機に切り替えて通話してください。
(切り替えるには、[マルチファンクションボタン]を素早く2回押ししてください)
- 本機のマイクと機器側のアプリケーションを使うことによって、Bluetooth® 対応機器を発信させることができます。
(→ 18, 「音声アシスタント機能を起動させる」)

Google アシスタントを使う

本機に話しかけることで、Google アシスタントを搭載したスマートフォンやタブレット(Android™ 6.0/iOS 9.3 以降)を操作し、音楽再生や調べものを行うことができます。

- スマートフォンまたはタブレットをインターネットに接続してください。本機を直接インターネットに接続することはできません。

■ はじめてのご使用前に以下の設定が必要です。

- iOS のスマートフォンまたはタブレットをご使用の場合は、「Google アシスタント」アプリがインストールされている必要があります。

1 Bluetooth® 接続する	スマートフォンまたはタブレットと本機を Bluetooth® 接続してください。(→ 11, 「Bluetooth® 機器に接続する」)
2 ヘッドホンの設定を完了する	スマートフォンまたはタブレットの Google アシスタントを起動し、スマートフォンまたはタブレット画面に従って、ヘッドホンの設定を完了してください。* ●iOS 機器をご使用の場合は、画面の指示に従って、Google アカウントの取得やログインなどの初期設定をしてください。

■ うまく設定ができない場合

- 本機の電源を入れ直してください。
- Bluetooth® のペアリング(登録)をやり直してください。
- スマートフォンまたはタブレットの電源を入れ直し、Google アシスタントを再起動してください。

- ※ 通知についての設定が表示された場合、Google アシスタントから通知を受け取るには、通知の送信を許可してください。
 マイクへのアクセスの設定が表示された場合は、アクセスを許可してください。

Google アシスタントの詳細については、以下のサイトでご確認ください。

<https://support.google.com/headphones>

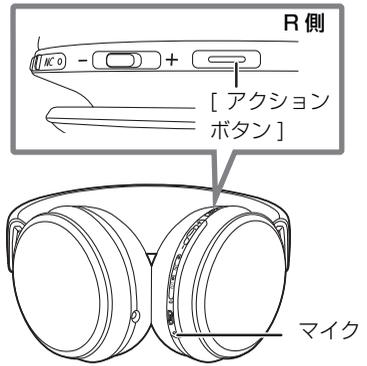


Google アシスタントを使う(続き)

Google アシスタントの使い方

- スマートフォンまたはタブレットと Bluetooth® 接続してご使用ください。
- iOS のスマートフォンまたはタブレットをご使用の場合は、Google アシスタントを起動してください。

目的	操作方法
音声で Google アシスタントを操作する	[アクションボタン]を押しながら、発話する(発話後手を離す) 例:「何か音楽をかけて」「今日の天気は？」など ●「OK Google」と話しかける必要はありません。
通知内容を確認する	[アクションボタン]を 1 回押す
Google アシスタントのアナウンスを停止する	[アクションボタン]を 2 回押す
通知に音声で応答する(対応している場合)	通知受け取り後、[アクションボタン]を押しながら、発話する(発話後手を離す)



お知らせ

- Google アシスタントは常に最新のバージョンでお使いください。
- Google アシスタント機能は、一部の言語や国、地域では使用できない場合があります。
- サービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更・停止する場合があります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

「Panasonic Audio Connect」アプリを使う

「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)をインストールしたスマートフォンとBluetooth® 接続をすると以下のようなさまざまな機能をお楽しみいただけます。

- ソフトウェアのアップデート
新しい機能の追加などができます。
- 各種設定のカスタマイズ
音質モード設定 / ノイズキャンセリング設定 / オートパワーオフ設定 / 音声ガイダンス言語設定など
- 本書へのアクセス

準備

- 本機の電源を入れる。

1 スマートフォンまたはタブレットに「Panasonic Audio Connect」アプリ(無料)をダウンロードする



Android:
Google Play



iOS:
App Store



2 「Panasonic Audio Connect」アプリを起動する

- 画面の指示に従って操作してください。

📌お知らせ

- 「Panasonic Audio Connect」アプリは常に最新のバージョンでお使いください。

便利な機能

音声アシスタント機能を起動させる

本機のボタンを使って、スマートフォンなどの Siri またはその他の音声アシスタント機能を起動できます。

- 1 Bluetooth[®] 機器と本機を接続する(→ 11, 「Bluetooth[®] 機器に接続する」)
- 2 [マルチファンクションボタン] を音声アシスタント機能が起動するまで押したままにする

お知らせ

- 音声アシスタント機能の音声コマンドの詳細については Bluetooth[®] 機器の取扱説明書をお読みください。
- スマートフォンなどの仕様やアプリケーションのバージョンによっては、音声アシスタント機能が働かない場合があります。

音声ガイダンス

本機は電源の切時や Bluetooth[®] 機器との接続時、設定の切り替え時などに音声でお知らせする機能があります。

- 音声ガイダンスは以下の言語の切り替えができます。
日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語
- 音声ガイダンスの機能を無効にすることはできません。
- 音声ガイダンスの音量を調整することはできません。

■ 音声ガイダンスの言語を切り替える場合

[マルチファンクションボタン] を「-」へ動かしたまま、[0/1 (0)] を 5 秒以上押す

- 操作をするごとに、1 言語ずつ切り替わります。

ボイスルーを使う

電車の車内アナウンスなど、周囲の音を聞きたいときに、本機を外すことなく周囲の音を聞き取りやすくします。

ボイスルーセンサーパネル(R 側)の全体を覆うように手をあてる

- 周囲の音が聞き取りやすくなります。
 - 一時的にノイズキャンセリングが「切」になり、再生中の音声の音量が下がります。
- 手を離すと、ノイズキャンセリングのモードや音量が元の状態に戻ります。

■ この機能の有効 / 無効を切り換える場合

[マルチファンクションボタン] を「+」へ動かすと同時に、[NC] を 5 秒以上押す

- 有効に切り替わる場合は、電源 / ペアリング LED (青) が約 2 秒間点灯します。
- 無効に切り替わる場合は、電源 / ペアリング LED (赤) が約 2 秒間点灯します。

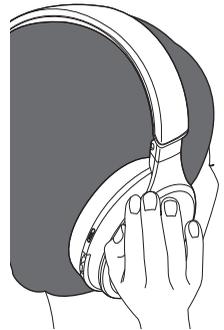
■ この機能を常時動作状態にする場合

[NC] を素早く 2 回押す

- 常時動作状態を解除する場合は、[NC] を押す、またはボイスルーセンサーパネル(R 側)の全体を覆うように手をあてたあと、離してください。

お知らせ

- ボイスルーは、電源「入」のときのみ働きます。



便利な機能(続き)

マルチポイント接続をする

音楽再生・通話用の Bluetooth[®] 機器(1 台目)と通話用の Bluetooth[®] 機器(2 台目)を同時に接続することができます。

例えば以下のように設定すると、1 台目の Bluetooth[®] 機器で音楽を聴いているときに、2 台目の Bluetooth[®] 機器に着信した電話を受けることができます。

Bluetooth[®] 機器と本機の接続・登録については(→ 11, 「Bluetooth[®] 機器に接続する」)

- 1 本機を 1 台目の Bluetooth[®] 機器と 2 台目の Bluetooth[®] 機器にそれぞれ登録する
- 2 音楽再生用に使用する 1 台目の Bluetooth[®] 機器と本機を接続する
 - 音楽再生用の Bluetooth[®] 機器を必ず先に接続してください。
- 3 通話用に使用する 2 台目の Bluetooth[®] 機器と本機を接続する

お知らせ

- 設定方法などについて、詳しくは Bluetooth[®] 機器の取扱説明書をお読みください。
- 音楽再生用として接続できる Bluetooth[®] 機器は 1 台です。
- Android OS 機器などで音楽再生しない場合は、「A2DP」の設定を無効にしてください。
- 通話機能がない Bluetooth[®] 機器も音楽再生用として 1 台目に接続ができます。
- 2 台目に接続した Bluetooth[®] 機器では、本機での音楽再生はできません。
- 本機は、最後に接続した Bluetooth[®] 機器を記憶しています。再接続時は自動的に接続する場合があります。マルチポイント機能で再接続する場合は、音楽再生用に使用する Bluetooth[®] 機器が再接続されるまで、その他の Bluetooth[®] 機器は、電源「切」、または Bluetooth[®] 「切」にしてください。
- マルチポイント接続時は、接続している Bluetooth[®] 機器によって Google アシスタントが使用できない場合があります。

電池残量のお知らせ

本機の電源を切ると、電池残量をお知らせする音声ガイダンスが流れます。(オートパワーオフ含む)
本機使用中に電池の残量が少なくなると、電源 / ペアリング LED の点滅が青から赤に変わり、1 分間に 1 回電子音が鳴ってお知らせします。* 残量がなくなると音声ガイダンスが流れ、自動的に電源が切れます。

- [🔊/🔋] を素早く 2 回押すと、本機から音声ガイダンスが流れ、電池残量を確認できます。
- 音声ガイダンスの言語を切り替えることができます。(→ 18, 「音声ガイダンス」)

オートパワーオフ

本機が Bluetooth[®] 機器と接続されていない場合、本機の操作を終えてから約 5 分後に音声ガイダンスが流れ自動的に電源が切れます。

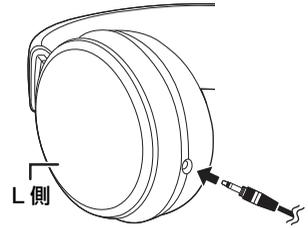
- 音声ガイダンスの言語を切り替えることができます。(→ 18, 「音声ガイダンス」)
- ノイズキャンセリングを「入」にしている場合は、働きません。

便利な機能(続き)

着脱コード(付属)を使う

電源「切」のときは、着脱コード(付属)を接続して一般のヘッドホンとして使用できます。

- Bluetooth® 接続時に着脱コード(付属)を接続すると、Bluetooth® 接続が切れます。
- [マルチファンクションボタン]は、電源「入」の状態であっても働きません。



リセット

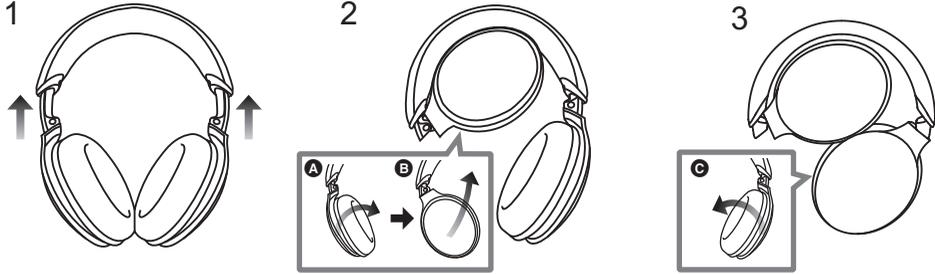
操作ができなくなったときは、本機をリセットすることができます。USB 充電ケーブルでパソコンと接続し、リセットしてください。以前の操作内容はすべてリセットされます。

(登録機器情報は削除されません)

本機の収納について

以下のように折りたたんでキャリングケース(付属)に収納してください。

●USB 充電ケーブルや着脱コード(付属)を接続している場合は、本機から外してください。



- 1 スライダーを収納する
- 2 片方のハウジングを約 90° 回し(A)、ヘッドバンド側へ折りたたむ(B)
- 3 もう片方のハウジングを約 90° 回す(C)
- 4 本機をキャリングケースに収納する

工場出荷設定に戻す

登録機器情報をすべて消去したいときなどに、工場出荷設定(お買い上げ時の状態)に戻すことができます。工場出荷設定に戻す前に、本体を充電してください。

- 1 電源が切れている状態で、[ / ] を電源 / ペアリング LED が交互に青と赤で点滅するまで、5 秒以上押し続けたままにする
- 2 電源 / ペアリング LED が交互に青と赤で点滅している間に、[マルチファンクションボタン] を「+」へ動かしたまま、[ / ] を 5 秒以上押し続けたままにする
 - 電源 / ペアリング LED(青)が高速点滅し、電源が切れると、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ お願い

- Bluetooth[®] 機器を本機に再度登録するためには、その機器側で登録情報(機器名: RP-HD610N J)を消去してから、再度Bluetooth[®] 機器に本機を登録してください。(→ 11)

使用上のお願い

ご使用について

■ 使用、保管場所について

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所に置かない
- ほこりの多い場所に置かない
- 振動の多い場所に置かない
- 風呂場など、湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない

■ 取り扱いについて

- 落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 洗剤で洗わないでください。

■ 音量について

- 騒音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

■ ヘッドホンの装着について

- ヘッドホンに外力がかからないようにしてください。寝たり、横になったりなどの使用は、異常な負荷がかかり、破損の原因となります。

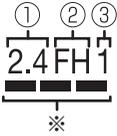
使用上のお願い(続き)

Bluetooth[®] について

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が FH-SS 方式
- ③ 電波干渉距離 10 m 以下

※ 2.402 GHz ~ 2.480 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Bluetooth[®] 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: パナソニック株式会社
DIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口
(付属の取扱説明書 裏面)

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth[®] 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth[®] 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であっても、機器の仕様や設定により接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth[®] 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

使用上のお願い(続き)

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生する場所で使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - 電子レンジ
 - デジタルコードレス電話機
 - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く(ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途[※]での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、直接生命・身体に重大な危険性を伴う制御において、きわめて高度な安全性が要求される用途のことをいいます。

例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と Bluetooth[®] 機器の接続ができていないか確認してください。(→ 11) ●Bluetooth[®] 機器側で音楽が再生されているか確認してください。 ●本機の電源が入っているか、音量が小さくないか確認してください。 ●本機と Bluetooth[®] 機器を機器登録/接続し直してください。(→ 11) ●Bluetooth[®] 機器側が「A2DP」プロファイルに対応しているか、確認してください。プロファイルについては「音楽を聴く」(→ 12) をご参照ください。詳しくは、Bluetooth[®] 機器の取扱説明書をご覧ください。
音量調整ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ボイススルー機能が働いていませんか。ボイススルーを解除してください。(→ 18) ●着脱コード(付属)使用時は、[マルチファンクションボタン]は動きません。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●ボイススルー機能が働いていませんか。ボイススルーを解除してください。(→ 18) ●本機の音量を上げてください。(→ 12) ●Bluetooth[®] 機器側で音量を調整する必要がある場合は、音量を上げてください。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●本機や Bluetooth[®] 機器を手のひらで覆ったりしていませんか。通信が遮断されて、音が途切れることがあります。
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ●Bluetooth[®] 通信使用可能距離(約 10 m)を超えていませんか。本機と Bluetooth[®] 機器を近づけてください。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と Bluetooth[®] 機器の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。 ●使用していない無線 LAN 機器の電源を切ってください。 ●本機と Bluetooth[®] 機器が LDAC で接続されている場合、Bluetooth[®] 機器側の音質モードを接続優先へ変更すると改善される場合があります。詳しくは Bluetooth[®] 機器の取扱説明書をお読みください。
Bluetooth [®] 機器と接続されない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機に登録できる Bluetooth[®] 機器は最大 8 台です。最大登録数を超過して登録すると、Bluetooth[®] 接続した順番が古いものから上書きされます。 ●Bluetooth[®] 機器の Bluetooth[®] メニューなどから本機登録情報をいったん消去し、登録をやり直してください。(→ 11)
通話相手の声が聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と Bluetooth[®] 対応電話機の電源が入っているか確認してください。 ●本機と Bluetooth[®] 対応電話機が接続されているか確認してください。(→ 11) ●Bluetooth[®] 対応電話機の音声設定を確認して、本機で通話する設定になっていない場合は、設定を切り替えてください。(→ 11) ●通話相手の声が小さいときは、本機の音量だけでなく Bluetooth[®] 対応電話機の音量も上げてください。
通話できない	<ul style="list-style-type: none"> ●Bluetooth[®] 機器側が「HSP」または「HFP」プロファイルに対応しているか確認してください。プロファイルについては「音楽を聴く」(→ 12) や「通話する」(→ 13) をご参照ください。また、Bluetooth[®] 対応電話機の取扱説明書をご覧ください。
本機を操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●USB 充電ケーブルでパソコンと接続し、リセットしてください。(→ 20) ●着脱コード(付属)使用時は、[マルチファンクションボタン]は動きません。

症状	原因と対応のしかた
<p>充電できない</p> <p>充電中に電源 / ペアリング LED が点灯しない</p> <p>充電に時間がかかる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● USB 充電ケーブルがパソコンの USB 端子にしっかりと接続されていますか。(→ 10) ● 室温は 10 °C から 35 °C で充電してください。 ● パソコンの電源が入っていることを確認してください。スタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されません。 ● USB ポートは正常ですか。お使いのパソコンに他の USB ポートがある場合は、他の USB ポートをお試しください。 ● 上記の操作をしても、充電されない場合は、USB 充電ケーブルを抜いて、再度差し込んでください。 ● 電池残量がない状態から満充電にするには、約 4 時間かかります。 ● 充電時間と動作時間が短くなった場合は、本体内蔵の電池が消耗している可能性があります。(内蔵電池の充電回数: 約 300 回) ● 充電中は電源 / ペアリング LED (赤) が点灯し、充電完了すると消灯します。
<p>電源が入らない</p> <p>電源が切れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電中ではありませんか。充電中は電源を入れることはできません。(→ 10) ● 電源 / ペアリング LED が赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。充電してください。 ● オートパワーオフが働いていませんか? (→ 19)
<p>Google アシスタントが使えない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンまたはタブレットはインターネットに接続されていますか? ● Bluetooth® 機器側で本機とのペアリング(登録)をいったん解除し、再度ペアリング(登録)をしてから、Google アシスタントを起動し、ヘッドホン設定を完了してください。(→ 15)
<p>Google アシスタントの通知が受けられない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンまたはタブレットや Google アシスタントの設定を確認してください。
<p>音声ガイダンスの言語が変わった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声ガイダンスの言語は切り替えることができます。(→ 18)

お手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
 - 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 電池性能の維持
 - 長期間使用しない場合は、本体内蔵の電池の性能維持のため、6か月に1回は満充電してください。
- イヤーパッドは長期間ご使用すると消耗します。イヤーパッドの交換はお買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。(→ 付属の「取扱説明書」裏面)

著作権など

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Apple, Apple ロゴ, Siri は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Google, Android, Google Play およびその他の関連するマークとロゴは Google LLC の商標です。

LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

認証情報は右イヤーパッド(R側)を外したところに記載しています。右側のイヤーパッドを外してください。(1) イヤーパッドを装着する場合、4つの爪を合わせ、「カチッ」と音がするまで、イヤーパッドを押しつけて閉めてください。(2)



仕様

■ 総合電源

DC 5 V, 500 mA
(内蔵電池:3.7 V (リチウムポリマー))

再生時間※1

約 24 時間
(ノイズキャンセリング ON, SBC)

充電時間※2 (25 °C)

約 4 時間

充電推奨温度範囲

10 °C ~ 35 °C

使用温度範囲

0 °C ~ 40 °C

使用湿度範囲

35 %RH ~ 80 %RH
(結露なきこと)

質量

約 275 g (コード除く)

■ Bluetooth® 部

Bluetooth® バージョン

Ver. 4.2

送信出力

Class 2(2.5 mW)

通信方式

2.4 GHz band FH-SS

対応プロファイル

A2DP, AVRCP, HSP, HFP

対応コーデック

SBC, AAC, Qualcomm® aptX™, Qualcomm® aptX™ HD, LDAC

通信距離

最長約 10 m

■ ヘッドホン部

入カインピーダンス

38 Ω
(電源オフ、着脱コード接続時)

再生周波数帯域

4 Hz ~ 40000 Hz
(着脱コード接続時)

■ スピーカー部

ドライバーユニット

直径 40 mm

最大入力

1000 mW (IEC)

■ 端子部

充電端子

DC 5 V, 500 mA

■ マイクロホン部

型式

モノラル

■ 付属品

USB 充電ケーブル

約 0.5 m

着脱コード

約 1.2 m

キャリングケース

※1 使用条件によって短くなる場合があります。
※2 電池残量がない状態から満充電にかかる時間です。

●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

廃棄するときのお願い

内蔵している電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本製品の廃棄に際しては電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。電池の取り出し方法については「電池の取り出しかた」(→ 30) をお読みください。取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へお持ちください。

危険



本機専用の電池のため、本機以外に使用しない

- 取り出した電池は充電しないでください。
- 火への投入、加熱をしないでください。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 切断したコードを、互いに接触させたり、金属などに接触させないでください。
- 火のそばや炎天下など高温の場所に放置しないでください。
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管しないでください。
- 水中への投入をしないでください。

発熱・発火・破裂の原因になります。

警告



電池残量がなくなってから分解する

電池取り出しの作業時に、発熱・発火・破裂を起こす原因になります。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。

- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。
- きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

廃棄するときのお願い(続き)

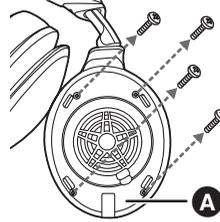
■ 電池の取り出しかた

本製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
この図は、本製品を廃棄するための説明であり、修理の説明ではありません。
一度分解すると、修復はできません。

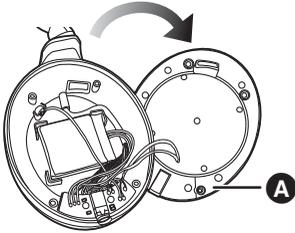
1 左イヤerpッドを外す



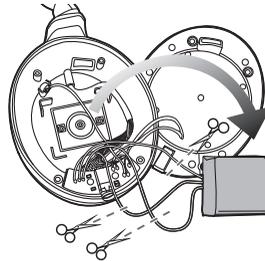
2 ねじを4本外す



3 手順2のAを外す



4 コードを一本ずつ切断し、電池を取り出す



■ お願い

- 取り外した電池のコード部分はセロハンテープなどで絶縁してください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 00

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2019

TQBM0407
F0319SK0